

## 編集後記

研究紀要の第7号には、立命館大学国際平和ミュージアムのリニューアルを担当した福島在行さんの平和博物館についての論文と、「若人の広場」旧蔵・戦没勤労動員学徒関係資料（文書）の記録類の資料紹介と、立命館大学国際平和ミュージアム2004年度事業記録とを掲載しました。

資料紹介で掲載しました「若人の広場」旧蔵戦没勤労動員学徒関係資料（文書）の記録類は、特別展図録『ぼくたち わたしたちの生きた証ー「若人の広場」旧蔵・戦没動員学徒遺品展ー』には分量の関係もあって収録できなかった資料の翻刻です。資料の写真版は同図録に収録しています。

川田文子さんは、自由学園高等科3年生で中島飛行機武蔵野工場に勤労動員中の1944年12月3日に空襲で亡くなりました。「生活帳」は勤労動員中の詳細な生活記録で亡くなる前日まで記入しています。

豊橋松操高等女学校からは、豊川海軍工廠に2・3年生約300人が勤労動員に行っており、1945年8月7日の空襲では動員された学校の中でもっとも多い47名が亡くなっています。勤務日誌は1944年10月15日から1945年4月15日の分で、学校・工廠からの指示事項、打合会の記録、教職員・生徒の出欠、勤労や行事の状況などが記載されています。

飯田中学から、三菱重工業名古屋航空機製作所に動員されていましたが、1944年12月7日に東南海地震により、5人生徒が亡くなっています。この5人の生徒の「追悼録」が作られ、校葬経過、弔辞、追悼文などが収録されています。

資料の翻刻にあたって常用漢字を使用し、変体かなは平かなに置き換えました。翻刻はミュージアム・スタッフの清水智世、契約職員の伊藤あゆみと吉永恵利加が担当しました。

収録しました論文は、筆者個人の責任で書かれたもので、必ずしも立命館大学国際平和ミュージアムの公式見解を示すものではありません。

編集は、安斎育郎館長を責任者とし、岡田英樹副館長、山辺昌彦による編集委員会が担当しました。

今回の紀要は論文が少なくなりました。今後は積極的な論文などの投稿をお願いいたします。

投稿規定は、以下の通りです。

テーマは平和に関するものです。

原稿のジャンル別の分量は次の通りです。

論文 400字30～100枚

資料紹介 400字10～20枚

書評 400字10～15枚

時評 400字10～15枚

原稿の様式は横書きです。

原則として、ワープロソフトによるものとし、24字×45行を1ページに印刷したものと、テキストファイルで保存したフロッピーとを提出してください。

投稿原稿については、紀要編集委員会が審査し、掲載、一部書き直し、返却などの結果を、投稿者に連絡いたします。